

ふれあい看護体験

5月12日（金）、本校の看護師を志望する生徒68名（2年次・3年生）が「ふれあい看護体験」に参加しました。

この事業は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、平成3年より5月12日を「看護の日」に制定し、毎年、北海道「看護の日」及び「看護週間」実行委員会（北海道、北海道医師会、北海道社会福祉協議会、北海道看護協会）の主催により実施されています。看護師と共に患者さんとふれあい、実際の看護体験とおして、「看護」への理解と関心を深めることを目的としています。



参加した生徒は「半日でしたが、とても内容の濃い時間を過ごすことができました。血圧測定や脈拍を測る時でも患者さんのことを考えて一つ一つ気をつけながらこなすのはすごく大変でした。でも、患者さんの『ありがとう』の一言で、頑張ろうと思いました。コミュニケーション能力をもっと養って、患者さんを笑顔にできるような看護師になりたいと思いました。」と感想を述べていました。



本校の生徒は次の医療施設でお世話になりました。このような機会を与えていただき、心より感謝申し上げます。

旭川医科大学病院、市立旭川病院、旭川医療センター、
旭川厚生病院、北彩都病院、愛生病院、大西病院、大雪病院、
十条病院、森山メモリアル病院、道北勤医協一条病院、
くにもと病院、進藤病院、道立旭川肢体不自由児総合療育センター